

各位

プレアボイド報告推進キャンペーンへのご協力をお願い

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 会長 山田 裕之
同 業務検討委員会 担当副会長 田村 英樹
同 業務検討委員会 委員長 菅野 浩

謹啓

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて業務検討委員会では、プレアボイド報告を推進すべく、本年も 11月を『プレアボイド報告推進月間』と致します。

本キャンペーンは神奈川県病院薬剤師会の特別企画となります。そのためお手数とは存じますが、日本病院薬剤師会への報告後、本年11月の報告事例を下記のいずれかの方法で当委員会まで報告していただきますようお願い申し上げます。

- ① 日本病院薬剤師会ホームページの「下書き・保存用雛形ファイル」または「入力支援フォーム」を下記アドレスにメールする。
- ② 「日本病院薬剤師会オンライン報告書」をプリントアウトし、ご施設のある地域の報告先に FAX する。
なお、ご報告頂いたプレアボイド報告で施設名や報告者の記載があるものは、定期的に発行する『プレアボイド報告実例集』に掲載させていただく可能性がございますことを予めご了承ください。
また、「勤務薬剤師一人当たりのプレアボイド報告件数の多い施設」および「優秀報告事例」は、令和7年3月予定の研修会において神奈川県病院薬剤師会会長から表彰を予定しております。

①報告先メールアドレス（受付期間 R6.11.1～11.30）

kshp.gyoumukento@gmail.com

②報告先 FAX 番号（受付期間 R6.11.1～11.30） ※送付の際は、宛先の記載をお願いします。

横北、横西 : 045-576-3566 済生会横浜市東部病院 薬剤部 瀧本 淳

横南、川北、川南 : 046-643-9663 藤沢湘南台病院 薬剤部 江島 慎太郎

相模、横三 : 046-822-9139 横須賀共済病院 薬剤科 片山 文子

湘東、湘西 : 045-832-8340 済生会横浜市南部病院 入退院支援センター 飯田 純一

県央、県西 : 044-411-8650 関東労災病院 薬剤部 八木 仁史

※地域包括ケアと共に薬薬連携が推進され、病院薬剤部門と保険薬局間での患者情報の共有が進んでいると思います。効果的で安全な薬物療法となったプレアボイド報告事例がありましたら積極的なご報告をお願いいたします。

以上、ご協力よろしくお願い致します。

11月は『プレアボイド報告推進月間』です!

キャンペーン期間中(11/1～11/30)は日本病院薬剤師会への報告と併せて
神奈川県病院薬剤師会への報告もお願いします。

【報告方法】 ①または②の方法で報告をお願いします。

①日本病院薬剤師会ホームページにある「下書き・保存用雛形ファイル」「入力支援フォーム」を
下記アドレスにメールして下さい。

Mail : kshp.gyoumukento@gmail.com

②日本病院薬剤師会に報告した「日本病院薬剤師会オンライン報告書」を印刷し、各地区の
担当施設にFAXして下さい。送付の際は、宛先の記載をお願いします。

横北、横西	045-576-3566 (済生会横浜市東部病院 薬剤部)
横南、川北、川南	046-643-9663 (藤沢湘南台病院 薬剤部)
相模、横三	046-822-9139 (横須賀共済病院 薬剤科)
湘東、湘西	045-832-8340 (済生会横浜市南部病院 入退院支援センター 飯田)
県央、県西	044-411-8650 (関東労災病院 薬剤部)

詳細は別途送付しております「プレアボイド報告推進キャンペーンへのご協力のお願い」をご参照下さい。

昨年度は23施設から233件ものご報告を頂きました。

プレアボイド報告は、薬剤師が患者さんに貢献したことを証明する貴重な情報です。各施設の事例は勿論、保険薬局との情報共有により、効果的で安全な薬物療法に繋がった事例も積極的にご報告下さい。

多くのご施設、特にこれまで報告されていないご施設からのご報告をお待ちしております。
優秀事例には、神奈川県病院薬剤師会会長からの表彰を予定しております。



プレアボイド報告書 (薬物治療効果の向上)
様式3 (Ver.1.0)

報告施設名 :
必ず施設の正式名称でご入力ください。

都道府県 :

施設住所 :

プレアボイド報告書 (未然回避報告用)

報告施設名 :
必ず施設の正式名称でご入力ください。

都道府県 :

プレアボイド報告書 (重篤化等回避報告用)

あなたの報告をお待ちしています